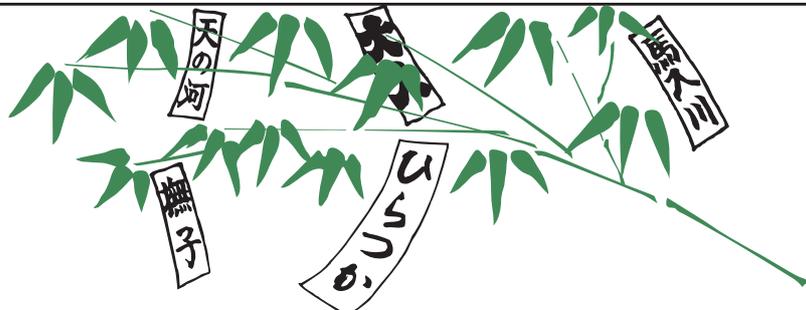




2011~2012年度 国際ロータリーテーマ

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」



# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 杉山善弥 ●副会長 牧野國雄 ●幹事 鶴井雄仁 ●会報委員長 小野 学 (2011~2012年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2809回 2011年10月6日 グランドホテル神奈中 週報第2809号

## 本日の卓話者ご紹介

米山記念奨学生  
李 秀永 (イ スヨン) 様



## 卓話

米山記念奨学生  
李 秀永

5月17日、ロータリー伊勢原平成クラブの皆さんと共に、仙台平成クラブ訪問を始め、南三陸で炊出しやアルバム洗濯などのボランティア活動した以降、震災で抛り所が無くなった方や、心と体に傷を負った方そして、亡くなられた方に対する特別な思いができました。いち早く、より迅速な復興活動が行われ、被災者の体と心に負った傷跡が治り、元の元気な生活に戻ることを心から願います。

こんにちは。ご紹介頂きました、米山奨学生のイ スヨンと申します。先ずは、この秋、美しい日本の自然に恵まれた平塚ロータリークラブにお呼びいただきまして、誠に感謝しております。日本の綺麗な自然と皆さんのように素晴らしい方々に恵まれた僕は本当に幸せものだと思い、感謝しております。

さて、本日のタクワに入る前、もっと私のことを知ってもらいたくて、改めて自己紹介させていただきます。私は運で生きてきた幸せなものです。つまり、ラッキーボーイです。神様から本当にたくさんの恵みいただきました。その中でも特にこの3つの恵みに感謝しています。

先ず一つ目の恵みは、経済的に豊かな家庭ではないですが、いつも愛が溢れている家庭で育ったことです。僕の家庭は4人家族です。世の中で私が最も、心から尊敬する父と、ものごとを賢く判断する知恵がある母、また、時には友達のように、時には最も頼もしい僕の右腕になってくれる、一年年下の弟が一人居ます。さらにですね、去年からは92歳のお婆さんも一緒に住むようになり、今はより一層幸せな5人家族になりました。

二つ目の恵みは、現在日本に留学していることです。日本に留学しようと思ったきっかけは、高校3年生の時に行った日本の観光旅行でした。高校3年の時、推薦試験で早めに韓国の大学に受かりました。そのため、大学入学までの空いている時期に一週間日本に旅行するようになりました。初めてみた東京の町並みはさすがに、世

界経済大国だという印象でした。町の人は親切と活気があって、どこに行っても都市がキラキラと光っていました。

本格的に留学を決めるキッカケは、旅行の最中に日曜日の朝に行った教会からです。日本で勉強している韓国留学生に偶然と出会う機会もありました。彼らは自分の夢を持って、朝と昼は学校で、夜にはバイトで働いて、一生懸命自力で、夢の実現のため生活している様子を見て感動しました。その一方、私の方はそういう目標意識なく決めた情けない進路も反省になり、もっと将来の自分のために進もうという意識をこの日本の旅行で自覚するようにもなりました。この世界経済大国で、独特な匠の精神を持つ優れた日本の文化を身につけようと自分の意思で留学を決心しました。

三つ目の恵みは、この米山奨学生になったことです。奨学金による経済的な支援は勿論、そのうえになんの繋がりもない私を本当に、家族のように暖かくして下さったことは言うまでもなく心から、感謝しています。また、国境を越え、皆さんと新たな絆を結んで頂いた事は、今までの人生の中で一番豊かな恵みだと誇りに思っています。今は、皆さんに頂いた恩に対して感謝の言葉・お礼の言葉しか、話せない立場ではありますが、皆さんから頂いた長い経験からの知恵の言葉をしっかりと身につけ、それを生かし、皆さんから頂いた恩に対して一部でも還元できるよう頑張ります。また、母国の韓国の人々にも今の思い出や、私が感じた事を広く言い伝え、韓日・日韓の間の様々な問題をうまく解けていける潤滑剤として将来に両国で使われたいと思っております。自己紹介がちょっと長くなったような気がしますが、

いよいよ本日のタクワの本題に参りたいと思います。今日お話すタイトルは私の夢です。恐れ入りますが、皆さんは今でも夢をお持ちでしょうか。お持ちでしたら、その夢はどんな夢でしょうか。私がまだ高校生の時、ある日の夜父に「お前の夢はなんだ。」と言われたことがあって、「平凡な平社員です。」とすぐに答えました。すると、帰って来るのが、気合い注入のピンタでした。当時は、何で殴られたのかが、分かりませんでした。今になってやっと、なぜ殴られたのかは分かり始めました。ご存知の通りには夢は自分自身の理想であり、その夢を叶えるために我らは汗を流し、日々努力を積み重ねて、頑張っているのでしょう。

今年、夏休みに韓国の旧お盆休みのために六ヶ月ぶりに里帰りに行って参りました。たまたま、その時期がちょうど高校の同窓会と重なった時で、何年ぶりに懐かしい高校の友達にやっと触れ合えることが出来ました。同窓会ではほとんどの皆さんが高校の思い出話で熱くなって盛り上がっていました。その話の中で一番盛り上がった話は先生との思い出でも、友達と皆さんと行った合宿旅行の話でもありませんでした。それは、我々の若い者が、直面しているこれからの進路についてのお話でした。

すでに、優秀な友達連中は会計士や専門業の資格や、国家公務員試験にまでも受かった子、検査の研修時期にも入っている子も居ました。でも、それは本当に稀な出来事で、普通の友達は就職活動のための話や資格勉強の話、また海外で語学勉強などと言った自分の能力・レベルをより一層持ち上げると話で夢中でした。

## <出席報告>

本日10月6日	会員数 57名	対象者 51名	出席者 40(36)名	出席率 70.59%			
前々回 9月15日	会員数 58名	対象者 52名	出席者 39(34)名	出席率 65.38%	MUP 4名	計 38名	修正率 73.08%

しかし、いざ、そういう話に夢中だった友達に何の目的があって、自分の夢について聞こうとしたら、友達自身は現実的な人間だと言って、夢なんかは非現実なもののため、あんまり考えたことがない。いや、そういうものは小学生の子供が話すものでしょう。と皮肉げに言い返されたことがありました。皆さんはこれをどう思いますか。そして、今も夢に対して、話せるでしょうか。

私の家は、韓国ソウルの中心のジョンロという所で昔の古屋をお借りし、焼肉屋さんをやっております。4～50人くらいがやっと入れるような小さい店で私の父は毎日5時に起きて、その日に使うお肉や食材などを自ら、朝市場まで行って直接購入して、お客さんに提供しています。今も父と母はその焼肉屋さんを色々な危機を乗り越えて、30年間も元気に続けております。

そして、私の夢もこの店から始まりました。私が中学生の時、韓国経済全体がものすごく悪くなりました。多くのサラリーマンがリストラされて、社会全体の雰囲気は暗くなる時期でありました。うちのレストランも、もちろんその影響を受け、レストランを経営するどころか、私が学校に通えられないほど、家計が崩れそうな生活を送っていました。

そのため、中学生の時から自然に家を手伝うようになり、学校が終わったら、ほぼ毎日店に出勤しました。出勤してからは、お皿洗いやお掃除までを店の看板の光を消すまで働き続けました。その当時の苦しさで平凡な家庭ではない自分の家が本当に嫌でした。しかし、このバイト生活というかやむを得ずに遣らされた修業の生活の期間があって、今の自分の夢が生じてきたと思います。

年末の忘年会で店が忙しかった日でした。私はいつものようにお客さんの靴を整理していました。整理するうちに、お客さん部屋から楽しく笑い声が漏れている部屋を見つけ、覗きこんだことがあります。その部屋は年配の方達の同窓会のような集まりでした。お客さん同士が本当に楽しく食事をしながら、お話しをしているところを見かけて、働いている私のほうまでが元気をもらい、楽しくなりました。

私はこれが自分の将来の夢だと思いつきました。最近の人はレストランでお腹をいっぱいにするという人間の基本的な欲求を超え、その欲求を高いレベルまで追い求めていると思います。私はそういうニーズに答えられる店作りがしたいです。つまり、口だけ開かれるお店ではなく、真の心まで開かれるような楽しい思い出が出来る、そういうスペースを提供・新鮮な素材で作った料理を食べてもらい、心と体が癒される店を作りたいというのが私の夢です。

また、韓国の食文化もグローバル化にして多くの人に伝えたいと思います。そのためには、既にグローバル化したヨーロッパ・アメリカ・日本の食文化を学ばなければならぬと思っております。ここでちょっと自分が思った各食文化を紹介します。まずヨーロッパの食文化は上流社会から始めたと言われております。特に昔ヨーロッパの時代の映画などで、食事後に皆が社交ダンスを踊ること光景をよく見られますが、その交流の要素が強い食文化こそがヨーロッパの食文化だと思います。また、アメリカは南北の戦争で、権利と自由のため戦った黒人の食文化のバイキングとキリスト教中心でのファミリーレストランなどがあります。

しかし、私が一番注目する食文化は日本の食文化です。日本の食文化は地中海の料理よりも、素材のお味を生かしたヘルシーな食文化でもあり、イギリス・フランス料理より時間と手間がかかり本当に心を込めて作った食文化でもあります。そして、私は日本の食文化の象徴として、茶碗をあげられると思います。中は赤で外は黒色の茶碗はまさに日本食文化の象徴だと思います。世界どこでも日本の食文化は現地化に優れていて愛されています。例えば、アメリカのニューヨークから始まって世界に広がったアボカド入りのロール寿司がこれに当たると思います。このように日本の食文化はどんな違う要素を取り入れても黒色のように吸収力があって、素早く一つ色になれます。そして、その中は赤い日の丸のようにしっかり日本のアイデンティティが入り込んでいるところが日本の食文化の優れたところだと僕は考えています。

今後、僕は日本の優れた食文化と農業からサービス業までさまざまな業界に触れ成長していきたい思います。また、ここまでの人生を運よく生きて来ましたが、これからは自分の実力で生きて行きたいと思っております。そのためにはロータリアンの知恵ある言葉が一番役に立つと思っております。

今後ともご指導、助言の方よろしくお願い致します。

ここまで、未熟な私の話を聞いて下さりありがとうございます。

### 李 秀永 様 プロフィール

韓国ソウル出身 26才  
東海大学 政治経済学部 経営学科 4年生  
2006.03 東海大学入学  
2007.03～2009.02 韓国陸軍所属  
2009.03 東海大学再入学  
2010.04 米山奨学生 伊勢原平成クラブ

### <幹事報告>

◎第6回 I A委員会及び各行事実行委員会開催のご案内  
日時：10/22 (土) 13:00～14:00 委員会  
14:00～17:00 各実行委員会  
場所：平塚市民センター「大会議室」  
議題：11/12 開催年次大会、海外研修、一泊研修会  
\*清水 裕委員長が出席します。

### <委員会報告>

●インターアクト委員会 委員長 清水 裕 会員  
地区ローターアクト委員会より活動のご案内  
(詳細は事務局まで)

- ①「高尾山の野草を観察してみよう」  
日時：10/23 (日) 11:00 集合  
17:00 解散予定  
集合：京王線「高尾山口」駅 改札前
- ②第23回地区年次大会  
日時：11/5 (土) 9:30 登録開始  
10:00～式典  
11:30～記念プログラム  
16:30～18:30 懇親会

場 所：鎌倉商工会議所  
テーマ：鎌倉の街を様々なテーマを持って歩く  
(観光地の裏側の工夫や取り組み)

●プログラム委員会 委員長 西村裕子 会員  
11/17 (木)の卓話は、歌手でギタリストのアントニオ古賀様です。また、夜間演奏会も予定しております。皆様どうぞお越しください。  
日時：11/17 (木) 18:00～演奏  
19:00～お食事  
(ワンドリンク付 ¥8,000)  
\*チケット・詳細は事務局まで。

### <メイクアップ>

4名  
柏手・木島・常盤・白石会員

### <ゲ ス ト>

李 秀永さん (卓話者)

小野良太郎様  
(米山学友委員会委員・  
秦野中RC)



モーさん  
(米山奨学生)



### <本日のスマイル>

15名

### <卓話・行事予定>

- 10月20日 (木) 台南東RC来平  
(姉妹クラブ締結更新のため)  
27日 (木) →移動例会：10/25(火)  
「よい音楽に親しむ会」(相模小学校)
- 11月 3日 (木) 休会 (祝日)  
10日 (木) 大光山高尾山薬王院  
法務部 修験課  
課長 戸田令定様  
17日 (木) 歌手・ギタリスト  
アントニオ古賀様  
\*夜間演奏会もご致します。

### <市内例会変更>

平塚北	10/25(火)→19(水) 変更：金目川清掃
平塚南	10/28(金) 職業奉仕研修会